

令和7年度教員長期研修
研修種目 キャリア教育

生徒理解を起点とした自律的に学び合える組織づくり
— 「つながりシート」を活用する校内研修の取組を通して —

広島県立尾道特別支援学校
高盛 大輔

授業前	部門・学部・学年	障害部門・部・第 学年	
	教科・単元(題材)名	実施する授業における教科・単元(題材)名及び目標を設定する。	
	単元の目標		
	対象者		
	子どもの目指す姿(段階)	3 2 1	実施する授業における効果的な活動や手立てを工夫するために、幼児児童生徒が単元を通して目指す姿を段階的に設定する。
他の単元や教科とのつながり・つなげ方(キーワード)	【例:生単・・・】 【キーワード】	実施する授業において既習事項や他教科との関連を効果的に活用するために、教職員が授業場면을意図的に設定する。	
授業	授業の様子(工夫)	写真等 実施する授業において幼児児童生徒の前期又は、後期の変容が分かるように、授業の様子を写真と併せて記録する。	
授業後	子どもの姿(授業や授業後のエピソード)	【単元についての様子】 【他の場面での様子】	実施する授業において幼児児童生徒の活動の過程や支援の効果进行分析するために、授業中や授業後に見られた様子をエピソードとして記録する。
	授業についての考察	実施した授業の成果や課題を整理し、次の改善につなげるために、記録を基に考察を行う。	

つながりシート 作成して終わり・・・

校内研修実施



活用して授業改善へ!

自律的な学び合い

I 研究の背景と考え方

おのとくにゃん



〈管理職の願い〉

教職員が自ら課題に気付き、改善し、
実践することができるようになってほしい！

自律的に学び合える組織

◎関係性、協働性

→ 対話型の校内研修の実施

△各学部の目指すゴールの姿の明確化、
学びの共有

→ つながりシートのブラッシュアップ

自律的に学び合える組織

生徒理解を起点として
対話型の校内研修の実施

生徒理解を起点として
つながりシートのブラッシュアップ

- 児童生徒は、それぞれ違った能力・適性、興味・関心等をもっている
- 多面的・総合的に理解していくことが重要

生徒理解を起点とする

生徒一人一人の特性に応じた指導の工夫の充実

参考：文部科学省（平成30年）

「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（幼稚部・小学部・中学部）」

開隆堂pp.278 - 279

講義型の校内研修

一方向的な知識伝達

対話型の校内研修

互いの強みや専門性を踏まえた共有が、

教職員の **自律的な学び** につながる



目標設定から実践までの全てのプロセスに
校内研修の講師役が伴走者として関与

つながりシート

対象者

子どもの目指す姿

(半期で育成を目指す資質・能力)

教科等のつながり

取組目標

(単元・題材における目標)

手立て

成果・課題

目的：幼児児童生徒が授業で学んだことを次の学びや日常生活につなげられるように、教職員の授業改善を促す

用途：各担任が前期と後期で1枚ずつ作成したものを活用して実践する

つながりシート

対象者

子どもの目指す姿

(半期で育成を目指す資質・能力)

教科等のつながり

取組目標

(単元・題材における目標)

手立て

成果・課題

作成及び実践における教職員の感想

- ・ **子どもの目指す姿**の設定が難しい
- ・ 他の教職員の実践を参考にし
て考えたかった
- ・ 他の教職員からのアドバイス
がほしかった

つながりシート (2025秋ver.) へ
ブラッシュアップ

I 研究の背景と考え方

つながりシート (2025秋ver.)

育てたい幼児児童生徒像
中学部で育てたい生徒の姿
対象者
子どもの目指す姿 (半期で育成を目指す資質・能力)
生徒実態
教科等のつながり
取組目標 (単元・題材における目標)
手立て
成果・課題
フィードバック

学校で育てたい幼児児童生徒像を明記することで、中学部で育てたい生徒の姿を明確にする

中学部で育てたい生徒の姿を明確にする
ことで、子どもの目指す姿を具体的に考える

生徒実態を記入する欄を設けることで、生徒理解を起点として教科等のつながりや、取組目標、手立てを考える

フィードバックを記入する欄を設けることで、新たな気づきや視点を実践につなげる

前期の研究

生徒の自己理解能力を促進するために他者からのフィードバックが有効であり、生徒の主体的な活動につながった



教職員がフィードバックをし合うことで、

自律的に学ぶ ことにつながるのではないかと👍

教職員が自律的に学ぶ姿に必要な四つの因子

同僚の経験の取り入れ	他者の実践からの学びを、自身の実践につなげている
生徒・保護者の視点の考慮	生徒や保護者の願いを踏まえて目標設定をしている
前向きな挑戦姿勢	研修を通して得た知識や気づき、他者からの <u>フィードバック</u> を次の実践につなげている
自己省察	自身の実践や他者からの <u>フィードバック</u> を分析し改善すべき点を振り返っている

参考：三沢良、樋口宏治、森安史彦（2023）

「教師の自律的な学習姿勢と学校組織風土に関する実証的検討－「学び続ける教師」の実現に向けて」－
岡山大学大学院教育学研究科研究集録第184号p.31

I 研究の背景と考え方

つながりシート (2025秋ver.)

育てたい幼児児童生徒像
中学部で育てたい生徒の姿
対象者
子どもの目指す姿 (半期で育成を目指す資質・能力)
生徒実態
教科等のつながり
取組目標 (単元・題材における目標)
手立て
成果・課題
フィードバック

フィードバックを行う際の四つの視点

共感	相手の取組や考えを肯定的に受け止めたこと
参考	視野が広がったことや今後取り組みたいこと
導入	他者の実践を自身の実践に取り入れること
改善案	より良くするための具体的な提案をすること

I 研究の背景と考え方

つながりシート（2025秋ver.）

育てたい幼児児童生徒像
中学部で育てたい生徒の姿
対象者
子どもの目指す姿 (半期で育成を目指す資質・能力)
生徒実態
教科等のつながり
取組目標 (単元・題材における目標)
手立て
成果・課題
フィードバック

つながりシート（2025秋ver.）

を活用した
対話型の校内研修の実施

生徒理解を起点とした

自律的に学び合える 組織づくり

同僚の経験の
取り入れ

◎つながりシート（2025秋ver.）

前向きな
挑戦姿勢

◎つながりシート（2025秋ver.）

生徒・保護者の
視点の考慮

◎つながりシート（2025秋ver.）

自己省察

◎従来のつながりシート
◎つながりシート（2025秋ver.）

II 取組の実際



校内研修（全3回）

第1回（10月）

- ・ **中学部で育てたい生徒の姿**を踏まえ、つながりシート（2025秋ver.）の作成を通して実践の計画を立てる

実践①

第2回（11月）

- ・ 他の教職員からの**フィードバック**を基に実践を振り返る
- ・ 生徒理解を起点として**子どもの目指す姿**を見直す

実践②

第3回（12月）

- ・ 他の教職員からの**フィードバック**を基に実践を振り返る
- ・ **子どもの目指す姿**について生徒理解を起点として理解を深める

教育研究部主任との連携

自己省察

前期のつながりシートの活用を振り返って
難しさはありましたか。

講師
役

子どもの目指す姿の記述に難しさを感じてい
る先生方がいるため、研修の中で丁寧に説明
してほしい。

主任

教育研究部主任との対話を受けて

- ・ **子どもの目指す姿**の記入例を提示して説明した
- ・ **子どもの目指す姿**をグループで考えられるように対話の時間を設定した

講師
役

校内研修の事後連携



- ・ **取組目標**を学習指導要領を参考にして設定できた。
- ・ **生徒実態**に応じた設定の難しさがあった。

幅広い視点で**生徒実態**の把握が必要。

講師
役

講師役との対話を受けて

- ・ 実施した教科でしか**生徒実態**を考慮していなかったことに気付いた
- ・ 他の教科における**生徒実態**も踏まえた**取組目標**や**手立て**の再検討を行った

自己省察

前向きな
挑戦姿勢



つながりシート（2025秋ver.）の作成



実践①に対しての改善案から、国語科の単元では、心理的安全性が担保された環境を整え、成功体験を積み重ねる活動を取り入れたい。

他の教科でも同様に取り入れられるか考えてみたい。



同僚の経験の
取り入れ

前向きな
挑戦姿勢



実践①に対する他の教職員からのフィードバック

共感

教師も価値付けることは大切ですよ

導入

生徒の様子を見て、待つことを意識してみようと思う

参考

短時間の話し合いを、短時間と複数回を意識して私も実践したい

改善案

発表内容を整理する
ワークシートがあれば、
良いと思った **教師Aが着目**

生徒が発表できたときの理由を分析したらよい

II 取組の実際

改善案

発表内容を整理するワークシートがあれば、良いと思った。

Before

Step 3	・伝えたい内容を整理して相手に伝えることができる。
Step 2	・自分の気持ちを自分から伝えることができる。
Step 1	・教師からの言葉掛けにより、自分の気持ちを伝えることができる。

子どもの目指す姿を、
Step 1、2、3として
三つの具体的なレベル感で設定

つながりシート（2025秋ver.）の 子どもの目指す姿

After

Step 3	・発表する言葉を <u>自分でワークシートに整理して</u> 、学年の友だちに対して、理由を添えて自分の気持ちを自分から伝えることができる。
Step 2	・発表する言葉を <u>自分でワークシートに整理して</u> 、教師に対して、理由を添えて自分の気持ちを自分から伝えることができる。
Step 1	・発表する言葉を <u>教師と一緒にワークシートに整理して</u> 、教師に対して、理由を添えて自分の気持ちを伝えることができる。

自己省察

同僚の経験の
取り入れ

つながりシート（2025秋ver.）
を活用する対話型の校内研修の取組を通して

教職員アンケート

- ・他者の意見を聞いて授業内で生かすことで、より生徒の成長につながった。
- ・つながりシートを記入することで、改善点に気付くことができた。
- ・他の教職員からのフィードバックがあることで、自己分析することができた。

同僚の経験の
取り入れ

前向きな
挑戦姿勢

自己省察

自律的な学び

Ⅲ 成果と課題



成果

同僚の経験の
取り入れ

前向きな
挑戦姿勢

自己省察



対話型の校内研修

つながりシート（2025秋ver.）の活用
校内研修事前事後の対話や、実践後の対話

成果

自律的な学び

同僚の経験の
取り入れ

前向きな
挑戦姿勢

自己省察



全てのプロセスに
校内研修の講師役が
伴走者として関与



成果

同僚の経験の
取り入れ

前向きな
挑戦姿勢

自己省察

中学部主事の感想

同学年の教員同士に限らず、席の近い教員同士で自然と生徒に対する指導や支援について話をしている光景がよく見られるようになった

自律的に学び合える 組織

課題

つながりシート (2025秋ver.)

育てたい幼児児童生徒像
中学部で育てたい生徒の姿
対象者
子どもの目指す姿 (半期で育成を目指す資質・能力)
生徒実態
教科等のつながり
取組目標 (単元・題材における目標)
手立て
成果・課題
フィードバック

つながりシートの「子どもの目指す姿」を設定することに難しさを感じる教職員は依然として多い

- Step 1～3に系統性をもたせて設定する
- 生徒の実態や保護者の願い等を丁寧に把握する

生徒・保護者の
視点の考慮

IV 今後に向けて



- 研究の取組の拡充
- つながりシートの更なるブラッシュアップと活用

教職員同士の積極的な

対話

生徒理解を起点とした

自律的に学び合える 組織づくり

- ・ 高盛大輔（令和7年）
「知的障害のある生徒の自己理解能力を育成するキャリア教育の実践－ 模擬株式会社「おの
とつく」の活動における「足あとシート」の活用を通して－」広島県立教育センター
【<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/educenter/r07choukenzenki.html>】
- ・ 文部科学省（平成30年）
「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説総則編（小学部・中学部）」開隆堂pp.278 - 279
- ・ 中央教育審議会(令和4年)
「「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな
教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）」
p.22
- ・ 鈴木佳菜・庄司一子（令和2年）
「特別支援教育に携わった教師の生徒理解・指導の変容」共生教育学研究 8 pp.89 - 97
- ・ 中村文子・ボブ・パイク（2018）
「研修デザインハンドブック」日本能率協会マネジメントセンターp.18
- ・ 三沢良・樋口宏治・森安史彦（2023）
「教師の自律的な学習姿勢と学校組織風土に関する実証的検討－「学び続ける教師」の実現
に向けて－」岡山大学大学院教育学研究科研究集録第184号p.31